

# 学校だより

No.16【特別号】

令和6年2月2日

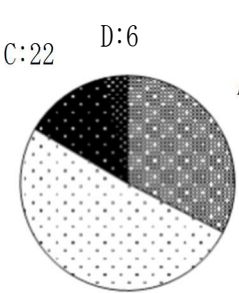
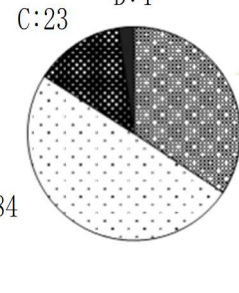
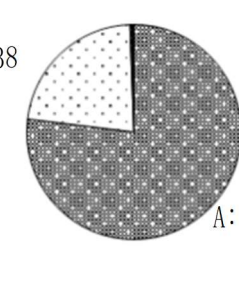
名古屋市立万場小学校

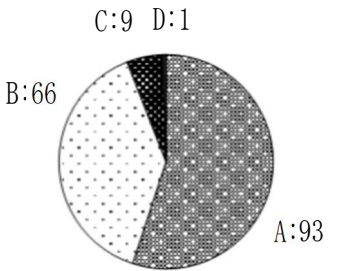
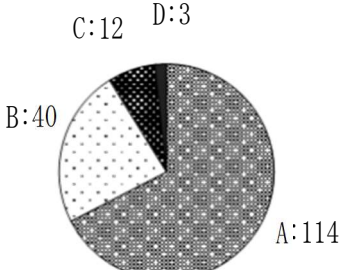
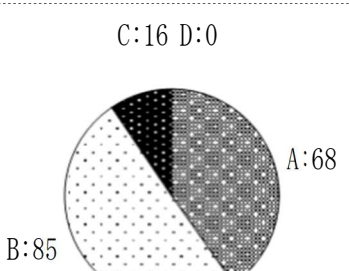
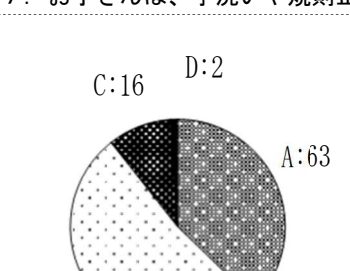
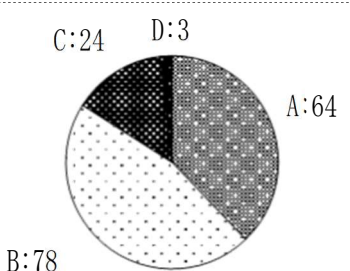
## 令和5年度 学校教育に関するアンケート 結果について

ご協力いただきましたアンケート結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

<質問紙によるアンケート> 回答数 169 / 在籍数 362 名 回答率 47% (前年度比+18%)

A : 当てはまる B : やや当てはまる C : あまり当てはまらない D : 全く当てはまらない

<p>1. お子さんは、算数科の「できる・楽しい」授業を通して、学びを深めることができている。【学校努力点】</p>  <p>A:55 B:86 C:22 D:6</p>	<p>A・B合わせて83%と評価いただきました。</p> <p>今年度は「なかまなビジョン」を基盤とした算数科の授業を行いました。子どもへの「算数アンケート」(5月・9月・1月実施)では、全ての質問項目で2・3回目にかけて数値が上昇しました。しかし「算数がよくできると思う」「算数が好きだ」の数値は依然低く、全ての子が「できる・楽しい」授業を味わうことができたとはいえません。</p> <p>今後は、新たな指針である「ナゴヤ学びのコンパス」を基盤に、子どもが自己決定・自己選択する機会を確保しつつ、「できる・楽しい」という思いをより味わえるような授業となるよう、授業改善を続けていきたいと思っております。</p>
<p>2. お子さんは、専科やT T指導等の複数の教員による授業により、授業が楽しく分かりやすいと感じている。</p>  <p>A:58 B:84 C:23 D:4</p>	<p>A・B合わせて84%と評価いただきました。(前年度比+23%)</p> <p>専科教員による授業を、理科・音楽科・図画工作科・家庭科等の教科で行いました。また、2・3年生を対象に「子ども未来応援講師」による学力補足のための特設講座を行いました。さらに、算数科の授業では、全学年で、複数の教員によるT T (TeamTeaching) 指導を進めました。</p> <p>今後も、今年度の体制を基に、より個に応じた指導ができる体制を整えていきたいと思っております。</p>
<p>3. お子さんは、校外学習や出前授業など、体験や経験を重視した活動を楽しみにしている。</p>  <p>A:130 B:38 C:1 D:0</p>	<p>A・B合わせて99%と評価いただきました。(前年度比+7%)</p> <p>今年度は、学区探検(1・2年生)・水耕ネギ栽培見学(3年生)・清掃体験(4年生)・「グローバル・ワークショップ」(5・6年生)等の校外学習・出前授業を行いました。</p> <p>今後も、校外学習や外部講師の活用を力を入れ、教室ではできないことを体験したり、専門的な知識をもつ方からお話を聞いたりするなど、体感と実感を重視した活動を進めることができるようにしたいと思っております。</p>

<p>4. お子さんは、異学年交流で相手を思いやり、協力して仲間と活動するよさを味わっている。</p> 	<p>A・B合わせて94%と評価いただきました。（前年度比+9%） 異学年とのペア活動を月に1回程度行い、「あつまれ！！なかよしフェスティバル」「あつまれ！！学びの会」に取り組みました。これらの活動の中で、異学年の仲間と活動したり、学び合ったりすることを通して、相手を思いやり、自己の行動や考えを振り返る姿が育っています。 今後も、他者への思いやりを大切にし、関わり合いの中で成長できる子どもとなるよう、支援を続けていきたいと思ひます。</p>
<p>5. お子さんは、休み時間やロング昼休みを楽しみにしていたり、外で元気よく遊んだりすることができている。</p> 	<p>A・B合わせて91%と評価いただきました。（前年度比+13%） 一昨年度から業前の時間を利用し、体育委員会によるダンスサイズ「万場マッスル」を行っています。また、月に1回程度、木曜日にロング昼休みを設け、運動の機会を確保しています。子どもたちは、教職員と思いきり運動できる機会を楽しみにしています。 今後も、こうした取り組みを継続し、健康的な体づくりを行っていきたく思ひます。</p>
<p>6. お子さんは、友達や先生、地域の方々に挨拶をすることができている。</p> 	<p>A・B合わせて91%と評価いただきました。（前年度比+3%） 児童会が主催する毎週のあいさつ運動では、登校してくる子どもたちから、元気に挨拶する姿が増えています。しかし、登下校時に進んで地域の方に挨拶することができない、校内ですれ違う教職員に対しても挨拶できない姿を見かけることがあります。 今後も、機会を捉えて挨拶する意味や大切さを伝えていくことで、進んで挨拶できる子どもを育てていきたいと思ひます。</p>
<p>7. お子さんは、手洗いや規則正しい生活習慣など、健康に心掛けた生活をする事ができている。</p> 	<p>A・B合わせて89%と評価いただきました。（前年度比+1%） 2時間目の休み時間や昼休みの後、給食前等に「手洗いの歌」を放送することで、意識付けができるようにしています。また、全学年で栄養教諭による栄養指導を、3年生で長期休業中に染め出し液を使った「歯みがき指導」の取り組みを行いました。 今後も、これらの活動や、給食だより・保健だより等を通して、子どもたちが心身の成長や健康の保持増進についての理解をいっそう深められるようにしていきます。</p>
<p>8. お子さんは、タブレット端末を使用した学習に慣れ、適切かつ積極的に活用することができている。</p> 	<p>A・B合わせて84%と評価いただきました。（前年度比-4%） タブレット端末を用いた「navima」「Qubena」等のAIドリル学習により、個に応じた学びを展開することができました。また、考えを共有する、疑問や興味をもったことを調べるといった活用もできました。 今後も、デジタル機器を有効利用した授業を行えるよう研修を行い、いっそうのICTの活用にあつめていきます。</p>

## <お寄せいただいたご意見（抜粋）と考察>



- 算数科の内容が難しい。（複数回答）
- 算数の学習がだんだん難しくなっているので、子どもがそのまま進んでいけるのかが不安。
  - 今後も、子どもたちにとって「できる・楽しい」＝「分かる」授業を目指して、授業改善を進めていきます。また、複数の教員によるTT指導をいっそう充実させることで、個に応じた支援ができるよう努めます。
- 校外学習の水耕ネギ栽培見学の後に、スーパーマーケットで水耕ネギが売っているかを調べるようになりました。
  - 体験や経験から学び、自らの生活にも生かす姿が素晴らしいと感じました。このような子どもたちが増えるよう、引き続き校外学習や出前授業等、体感と実感を重視した活動を効果的に教育活動に位置付けていきます。
- 挨拶をするのが恥ずかしいと感じているようです。みんなが元気に挨拶する環境づくりが大切だなと感じました。
  - きちんと挨拶ができることは、人とのつながりや信頼関係を構築するのに欠かせません。恥ずかしさを感じる成長段階に差し掛かっても進んで挨拶できるよう、「みんなで挨拶する」環境作りに取り組むなど、今後も指導を継続していきます。
- タブレットは、家に持ち帰ってきても活用していないように感じる。
- タブレットの活用方法について、担任の先生だけで対応するのは酷だと思ってしまうので、専門の先生が時々来てくれるといいと思います。子どもに任せるとゲームばかりしてしまうのは目にえています、できればもう少し自由に使わせてあげたいです。
  - タブレット端末は現在、毎日の持ち帰りを行っています。連絡事項の伝達や家庭での課題など、今後も端末を活用する機会が増えるよう検討していきます。
    - 週1～2回程度、ICT支援員が勤務しています。情報機器管理だけでなく、各学級でも、機器の活用支援を行っていただいています。
    - ぜひご家庭でも、使用の習慣が定着するよう、調べ学習などの際にご活用ください。
- タブレットが壊れていて、修理期間の間は家での学習ができませんでした。
  - タブレット端末の故障については、現在、修理依頼から完了して手元に届くまで、ある程度の期間（多くは1か月以上）を要しています。また、修理依頼に対して、十分な数の代替機を用意することができない状況です。そのため、軽微な損傷については、そのまま使用を継続することもあります。
    - 学校でも、貸与品の丁寧な使用を呼び掛けています。ご家庭でも、タブレット端末の取り扱いには十分ご留意いただくと共に、故障・紛失等は、軽微なものでも担任までご相談ください。

など

ご意見を参考に、これからも教育活動を推進していきたいと考えています。今後とも本校の教育活動に対して、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

